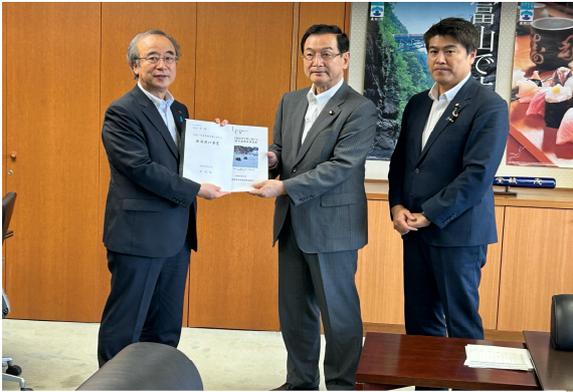


積寒協 ニュース

令和6年6月13日、花角会長が国土交通省に対し、令和7年度政府予算に対する要望活動を行いました。

去る6月13日（木）に、会長である花角新潟県知事が国土交通省に対して、令和7年度政府予算に対する要望活動を行いました。

本要望では、堂故 茂 国土交通副大臣に御対応いただきました。

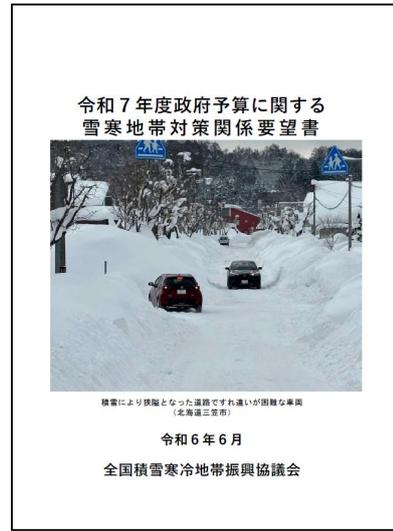


（国土交通省 堂故副大臣へ要望書を手交）

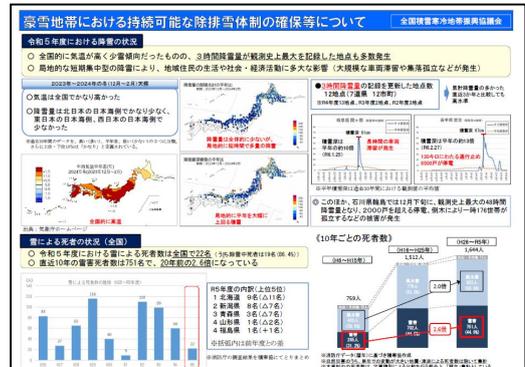
会長からは、令和5年度の冬の気温は、全国的にかなり高く少雪傾向だったものの、局地的に短期集中型の降雪があったことにより、大規模な車両滞留や集落孤立が発生するなど、地域住民の生活や社会・経済活動に多大な影響があったことを説明しました。

また、道路除雪について、昨今の労務単価の上昇や急激な資材費の高騰などにより、地方自治体の負担は増大していることから、引き続き道路除雪費の確保に取り組むことや、補助対象の拡大などについて、強く要望しました。

【参考】



（要望活動等に使用した要望書）



（説明資料① 豪雪地帯の現状について）



（説明資料② 道路の除排雪体制について）

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金については、地域の除排雪体制の確保・維持、高齢者の雪下ろし支援など、あらゆる対策を講じていますが、地方自治体の自助努力のみでの対応が困難になっているため、交付金の支援期間の延長、支援内容の拡充や予算額の確保・拡充を要望しました。

なお、先立って6月6日（木）には、国土交通省国土政策局に対し、同様の内容にて要望活動を行いました。

また、6月21日（金）には、自民党豪雪PTが開催されました。全国積雪寒冷地帯振興協議会の会長として、新潟県がヒアリングを受け、積寒協重点要望の内容や新潟県の豪雪交付金の活用状況等を説明しました。

今後もあらゆる機会を通じて、要望実現に向けた働きかけを行ってまいりますので、皆様におかれましても引き続き御協力をお願いいたします。

【事務局より御礼】

会員各位におかれましては、短期間における様々な調査や写真提供等に御協力いただき、誠に感謝申し上げます。

今回のような要望活動をはじめ、積雪寒冷地帯において住民が安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて取り組んでいくことは、本会の重要な役割と考えております。

今後も引き続き、本会活動に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【参考】

豪雪地帯における持続可能な除排雪体制の確保等について

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金の拡充等

- 過去10年間（平成26年～令和5年）において、豪雪により亡くなった方は全国で75名にものぼっており、20年前の約1.6倍まで増加
- 高齢化の進行による要援者の増加、除排雪の担い手不足、空き家の増加など豪雪地帯における課題は複雑化・深刻化
- 各自治体において策定した地域安全対策方針に基づき取組を推進し、定着させていくためには長期的な支援が必要

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金の概要

交付金の活用

交付金に関する各都道府県・市町村要項

交付金の概要

- 交付金の概要
- 交付金の活用
- 交付金の活用

交付金の活用

交付金の活用

交付金の活用

(説明資料③ 豪雪交付金について)

豪雪地帯における持続可能な除排雪体制の確保について

令和6年6月21日
全国積雪寒冷地帯振興協議会
新潟県

本日の説明内容（本協議会の課題・要望事項）

<持続可能な除排雪体制の確保>

- 1 道路除雪資の財源確保
 - (1) 全国の道路除雪資の推移
 - (2) 労務準備・資材準備等の上昇
- 2 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金の拡充等
 - (1) 交付金の概要
 - (2) 交付金の活用状況
 - (3) 新潟県の状況
 - (4) 地域における除排雪体制の課題
 - (5) まとめ（豪雪交付金に係る今後の課題・要望）

(豪雪PTで使用した説明資料)